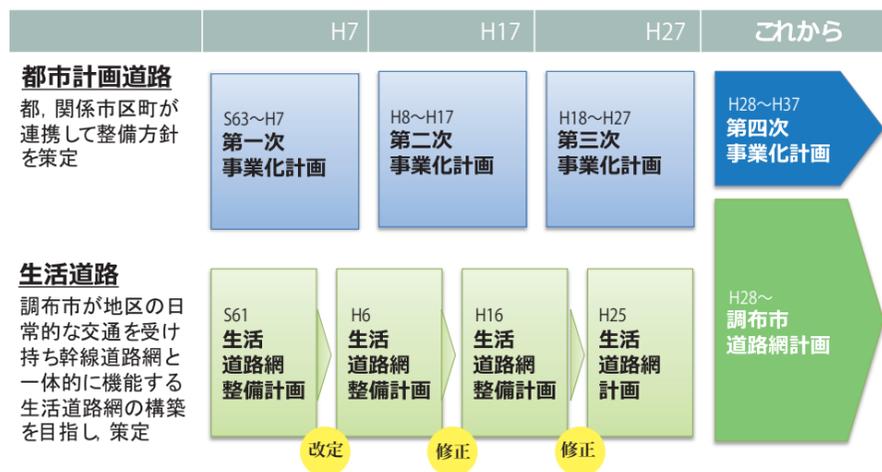


# 道路網計画とは

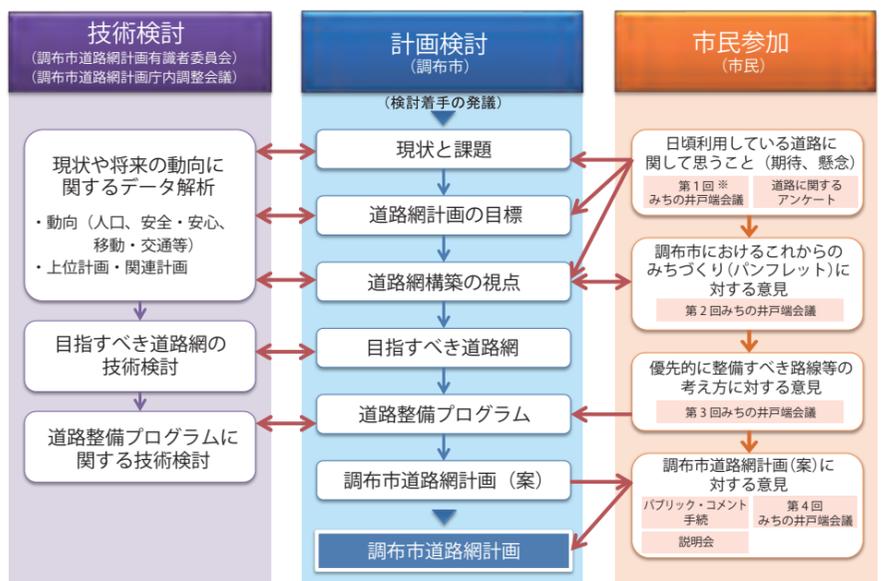
調布市では、広域的な移動を支える「都市計画道路」と、広域的な道路を補完し地区内の移動を支える「生活道路」について、それぞれの計画に基づき、個別に整備を進めてきましたが、より計画的、効率的に都市基盤の整備を進めるため、双方の道路を体系的、機能的に連携した道路網として、バランスよく整備していくことが重要であると考え、2つの道路を一体的に検討した「調布市道路網計画」を策定しました。この計画は、検討の初期段階から、市民の皆さんのご協力をいただき、意見交換を行いながら検討を進めました。

これからも、目指すべき道路網の実現に向けて取り組んでまいります。

## 調布市における都市計画道路、生活道路の計画の変遷



## 道路網計画の検討プロセス



# ① これからのみちづくり

調布市における都市計画道路の整備率は約51% (平成27年度末時点)です。多摩地域の平均整備率約60% (平成26年度末時点)より低い状況にあり、計画的な道路整備や着実な事業推進が課題です。生活道路は、市が主体的に整備を進める路線のほかにも開発事業等の機を捉え整備を進めてきましたが、整備には長い年月がかかり整備効果を早期に発現できないことが課題です。

市民からは日常生活で頻繁に使う道路を安全、安心に利用したいというご意見が多く寄せられており、必要な道路を、効率的かつ計画的に整備をしていく必要があります。

これらのことから、これからのみちづくりについて、基本理念を定めました。

### みちづくりの基本理念

- 道路に期待される多様な役割が発揮されることを重視したみちづくり
- 選択と集中により短期間で効果が発現されるみちづくり
- 定期的に道路の必要性や優先度を確認する柔軟かつ継続的なみちづくり

## 市民ニーズ

### 日頃利用している道路に関して思うこと

(みちの井戸端会議及び道路に関するアンケート結果)



# ② 計画の構成

## 計画の構成

道路網計画は、都市計画道路を対象とした「広域道路網計画」と、生活道路を対象とした「地区内道路網計画」により構成します。また、それぞれの計画に、調布市の将来都市像の実現に必要な「目指すべき道路網」、整備の優先度を明示した「道路整備プログラム」を設けました。

### ※みちの井戸端会議とは

調布市道路網計画の検討では、職員が対面形式で直接市民の皆さんの意見を聴く手法を活用しました。親しみやすい場をイメージして、愛称を「みちの井戸端会議」としています。

## 道路網計画の検討対象路線

広域道路網の検討対象路線は、広域的な移動を支えるという観点から、都市計画道路のうち、幹線街路と区画街路を基本としました。

地区内道路網の検討対象路線は調布市生活道路網計画において、生活道路として位置付けている路線を基本としました。なお、必要に応じ、同計画に位置付けのない路線についても検討対象としました。

